

まいしん

令和元年 5月17日(金) 発行 第2号

1 学期中間テスト終了

1年生は高校に入学して初の、2年生は進級して初の中間試験、手ごたえはいかがでしたか？

中間テストは、「これまで授業で学んだことがどれだけ理解できているか」を確認する大事なテストです。テスト結果を見て一喜一憂して終わるのではなく、見直しをして自分の弱点がどこか把握し、そこを補強することで力をつけていきましょう。それが入試の結果にもつながっていきます。

これから部活動の大会や体育祭・文化祭に向けて忙しくなりますが、せっかくの中間テストを受けっぱなしで済ませてはいけません。定期テストとの付き合い方について、皆さんと年の近い初任の先生方3名からメッセージをいただきましたので、参考にしてみてください。

林先生 (理科)



人に頂いたお手紙を読むとき、文字の中から相手の表情や意図を汲み取ろうとしますね。問題用紙も「この知識は身につけておいてほしいなあ」という、先生方からのお手紙なのであります。解答用紙はさながらお返事です。テスト後は解き直しをして「こんな知識を身につけて欲しかったのかあ」と思って頂ければ幸いです。返却されたテストは、理解不足な部分が可視化された貴重な資料です。解いたあとも味わい深いのが、先生手作りの試験問題なのです。

米高生の皆さん、中間考査お疲れさまでした。定期テストが終わったあとの取り組みの差が来年、再来年に大きな差を生みます。しっかり活用しましょう。

私が伝えたいことは「テストを保存しておくこと」です。大学の試験は高校の全ての範囲から出題されます。1.2年生で学んだことを復習するには定期テストを残しておいて、もう一度解いてみるのが受験勉強になります。

しっかり準備したうえで定期テストを受けておかないと解き直したときに過去と今の自分の差が分かりません。これからも一生懸命受けるようにしてくださいね。

島村先生 (保体)



鍛冶先生 (英語)



テストが返却されたら必ず見直しをしましょう。「模範解答を写して終わり」ではありません。次に同じ間違いをしないよう、どこで間違えたのか理解した上で解き直すことが肝心です。間違いだけをまとめたノートを作るのもおすすめです(大きな試験の前などに自分の弱点をまとめて見直すことができ便利です)。また、テストまでの計画についても振り返りましょう。勉強時間の確保はできたか、スケジュールリングに無理はなかったか、定期テストはそういった計画性を身につけるトレーニングでもあります。振り返り、次に生かしましょう。